

学校名 上手小学校 校長名 米丸寛之

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評価(数値平均)	対策・改善点			評価(数値平均)	主な意見		
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	段階	人数	平均	PTA総会での説明や学校HPでもアップしているが、地域等での様々な機会を通して、学校経営方針に関連付けた話をしていく。	段階	人数	平均	・HPや学校便りが充実しており、頑張っている子供の様子や学校の様子がよくわかる。 ・学校便りやHP等で分かりやすく伝えられている。学期・月毎の学校経営方針が非常に具体的で分かりやすい。
			A	4	3.4		A	4		
			B	5			B	6		
			C				C			
D		D								
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し努力している。	段階	人数	平均	特に知について、構造的な板書、ノートの取り方、複式の授業改善について共通の取組を確認して実践している。授業参観を行い、継続して指導を行っていく。	段階	人数	平均	・個々に合わせた具体的な数値目標を設定し、指導方法も工夫されている。
			A	6	3.7		A	7		
			B	3			B	3		
			C				C			
D		D								
3	(2)	子供たちは、「学校が楽しい」と感じ、生き生きと学校生活を送っている。	段階	人数	平均	例年の活動をより充実させ、目標をもって活動に取り組みしてきた。当たり前と思える活動も含め、活動に興味を持たせた取組を継続して行う。	段階	人数	平均	・子供たちがニコニコ笑顔で楽しく生き生きと、そして真剣に取り組んでいる。 ・のびのびと元気に笑顔で学校生活を送る児童の姿が多く見受けられる。雰囲気は非常に良いと思う。
			A	8	3.9		A	8		
			B	1			B	2		
			C				C			
D		D								
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	段階	人数	平均	職員会議後の生徒指導対策委員会の定期的な開催を今後も行うとともに、常に発達支持的生徒指導を行うように心がけていく。	段階	人数	平均	・一人一人を大切に教育がなされて、楽しくのびのびとした学校生活を送っていると感じる。
			A	8	3.9		A	7		
			B	1			B	3		
			C				C			
D		D								
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	段階	人数	平均	今年度はPTA校区内安全点検を実施しなかったが、PTAには危険箇所を随時報告してもらい対応を行っている。	段階	人数	平均	・危険箇所マップ等が整備され、HP等での公開、安全についてよく指導されているように思える。 ・下校時の道路横断の斜め横断を数回見かけた。継続して交通安全指導をお願いする。 ・注意を払っているが不点もある。
			A	7	3.8		A	6		
			B	2			B	4		
			C				C			
D		D								
6	(4)	教職員は、子供と望ましい関係を築いており、保護者や地域との交流が図られている。	段階	人数	平均	コロナが5類に移行して懇親会等も行われ、保護者との交流も増えている。子供も含めて良好な関係を築けている。	段階	人数	平均	・常に学校と家庭が協力的で、職員とPTAの関係が近いと感じる。 ・多くの場面でよい関係や交流が行われているが、子供の状況をより把握しながら適切な関わりや対応につなげてほしい場面もある。
			A	5	3.6		A	4		
			B	4			B	6		
			C				C			
D		D								
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	段階	人数	平均	限られた人数で分担しながら行っているが、行き届かない箇所もある。清掃等、方法を工夫して効率的に取り組んでいく。	段階	人数	平均	・廊下や階段の壁には子供の作品などがたくさんきちんと掲示されている。 ・広い敷地の管理は大変だったが、しっかり管理されている。校舎内の整理整頓もされている。
			A	4	3.4		A	4		
			B	5			B	6		
			C				C			
D		D								
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に点検され、安全な状態が保たれている。	段階	人数	平均	月1の安全点検や市教委等と連携した危険箇所の把握と修繕を継続して行う。修繕が進まない箇所は児童等に周知し安全に生活できるようにする。	段階	人数	平均	・きちんとしており、安全でいい学習環境を提供していると感じる。 ・継続的な取組と、多くの目での点検をお願いしたい。
			A	8	3.9		A	8		
			B	1			B	2		
			C				C			
D		D								
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	段階	人数	平均	全国学調や鹿定調や体力テの結果は伝えている。通常の授業の様子や子供の学力等について、保護者により分かり易くその都度伝えていく。	段階	人数	平均	・体力づくりのためにいろいろな活動をされていると思う。 ・学校便り・各会合・HP・資料等をうまく活用して、子供たちの現状報告などが定期的になされている。
			A	4	3.4		A	2		
			B	5			B	8		
			C				C			
D		D								
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	段階	人数	平均	保護者、地区コミュ、高齢者クラブ等、非常に協力的である。互いが気持ちよく取り組めるように事前連絡等を確実にやっていく。	段階	人数	平均	・各行事に地域や保護者は、大変協力していると思う。 ・田植え、稲刈り、菜の花植え等、よく取り組んでいると思う。
			A	8	3.9		A	8		
			B	1			B	2		
			C				C			
D		D								

様式6 令和5年度 学校関係者評価結果

No. 2

学 校 名
上手小学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)				
			評価(数値平均)	対策・改善点			評価(数値平均)	主な意見		
11	(6)	小中一貫教育は、小中間の交流活動等が積極的に行われ、成果が現れている。	段階	人数	平均	令和4年度に取り決めた魅力ある学校づくりの共通実践事項が新設校へもうまく引き継がれていくようにしていきたい。	段階	人数	平均	・更に連携を図り、進めていただきたい。
			A				A	1	3.1	
			B	8	2.9		B	9		
			C	1			C			
D		D								
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えている。	段階	人数	平均	予算の範囲内でいかに有効活用できるかを考え、子供へしっかりと還元していきたい。	段階	人数	平均	・しめ縄、門松づくり等よく取り組んでいると思う。 ・子供の将来の夢を抱けるきっかけづくりにもしてほしいと思う。
			A	5	3.4		A	2		
			B	3			B	8		
			C	1			C			
D		D								
13	(6)	英語の授業では、子供も教師も笑顔でコミュニケーション活動を行い、英語力が身に付いている。	段階	人数	平均	授業ではコミュニケーション活動に重点を置きながら取り組んでいる。新聞の英語記事を校内に掲示し、その活用を通して、英語力の向上につなげていきたい。	段階	人数	平均	・英語の授業を楽しく取り組んでいる様子がうかがえる。
			A	4	3.4		A			
			B	5			B	10		
			C				C			
D		D								
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階	人数	平均	学校でしっかりできる挨拶が地域まで広がらない状況である。先手挨拶を行い、挨拶を最初に受ける喜びを感じさせていきたい。	段階	人数	平均	・個人差はあるものの、子供たちが進んで元気に気持ちのいい挨拶をしてきている。 ・知らない方や耳の不自由な方への対応はどうしているのか。
			A	1	3.0		A	4		
			B	7			B	7		
			C	1			C			
D		D								
15	(8)	信頼される学校づくりのための取組がなされている。(祁答院独自)	段階	人数	平均	子供たちに学力向上をはじめ生きる力を身に付けようと共通認識をもって取り組んでいる	段階	人数	平均	・職員一丸となってよく頑張っておられると思う。 ・HPの更新頻度が高く、学校内での子供たちや学校の様子がよく伝わる。
			A	5	3.6		A	7		
			B	4			B	3		
			C				C			
D		D								
16	(8)		段階	人数	平均		段階	人数	平均	
			A		#DIV/0!		A			
			B				B			
			C				C			
D		D								

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

＜学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策＞

○5の「子供たちの安全について細心の注意を払っているか」について、避難訓練等適切に行っているが、登下校等の普段の生活における指導に課題がある。集団下校時を含めた毎月2回の安全指導の時間設定と内容を工夫し、継続的に指導を行っていく。

○6の「教職員と子供との望ましい関係の構築と保護者や地域との交流」に課題がある。特に、教職員と子供との望ましい関係構築において、子供の様々な状況等を把握して、落ち着いて丁寧な関りを大切にしていこう、生徒指導に関する研修を実施したり、保護者と密に連携をとったりする。

○12の「薩摩川内元気塾は、子供たちに夢を与えているか」について、実施方法に課題がある。子供たちに機会をただ与えるだけでなく、事前事後の活動を行って、子供たちの元気や夢にもつながっていくようなきっかけとなるようにしていく。

○14の「子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしているか」について、学校生活以外の場への広がり課題がある。子供たちが、表情を明るくして、声をはっきりと出した元気なあいさつができるよう、教師の先手あいさつ・呼名後のあいさつを心掛けながら、挨拶される喜びを感じさせていく。また、あいさつ後の会話を提供することで、コミュニケーション能力の向上にもつながっていく。